



ボランティアを考えてみた

弘前おもちゃ病院ボランティア 佐藤弘信

ボランティアって何？

英和辞典を引いたら、任意行為者、無償取得者、義勇兵等々…。

自発的、自由意志での…と言う意味らしい。強制もなく、義務もなく、嫌ならやらなくても文句を言われるものでもないらしい。

組織やしがらみの拘束から解放され、自由気儘に生きて見なくなった自分と波長がピッタリ合う。

リタイヤして暫く、釣りや庭いじり、愛犬と共に散策等、開放感をエンジョイしたが、何か物足りず満たされないものを感じるようになった。

現役時代、“人間は自分だけの喜びを求めて真の幸せは得られない。人に尽くして喜ばれ、有難うと感謝され、あ～自分は人の役に立てたんだと実感をした時に本当の満足が得られるものだ。”と聞いたことがある。おもちゃ病院のボランティア活動が打って付けだった。

小さい頃からおもちゃを壊す（分解する）のが得意だった。直せなくて悲しい思いも沢山した。今度は壊れたおもちゃを直してあげよう！きっと喜んでもらえる！おもちゃ病院の仲間は皆ボランティア精神に満ちていて、これまた、波長がピッタリ合い、お付き合いはこの上なく気持ちが良い。

“ボランティア活動は、10年目だが正に生き甲斐であり、元気の源である”

ドクター
& ナース
募集中♪



弘前おもちゃ病院は、弘前から始まり、青森・五所川原・八戸・平川・三沢・むつの7か所に開院し、現在、黒石と秋田県鹿角市・大館市に開院準備中です。



9月9日に修理件数3000件達成！



ボランティアを始めたキッカケは？

お弁当が出たから

友だちを作りたくて

一人暮らしで一人だとボケそうだから

子育てが終わって時間が空いたから

震災があって、自分にも何かできないかと思って

退職をして何もすることがなかったから

助けてもらった恩返し

進学・就活に役に立つから

引越しをしてきて知ってる人がいなかったから

日野原さん（聖路加国際病院）の講演を聞いて

彼氏彼女に連れられて



ここだけの話

さて、佐藤さんのキッカケは…ご本人は忘れたと話していましたが…これは奥さんがボランティア支援センターの運営委員をしていた時のお話です。「主人は機械いじりが好きなので『おもちゃ病院』の活動に向いていると思ったんだけど、多分、私が勧めても行かないかもしれないと思ったので、『弘前おもちゃ病院』のチラシを主人の目に入るような所にさりげなく置いたんです。それから数日後…どうも主人のようすがおかしいと思っていたら…」実は、奥さんには内緒で『おもちゃ病院』の活動に参加していたようで、カルチャーロードで活動していたご主人を見つけてビックリ！（笑）その日、その近くにいた私（小田切相談員）にそのことを教えてくれました。

ご主人がボランティアに関わるようになってから、おもちゃ病院の広がりとともに、お二人の心も豊かになっていったようです。

花でひろさを彩る 「ハナヒロプロジェクト」



みなさんは、土手町に飾ってある綺麗なフラワーバスケットに気付きましたか…？ひろさき未来戦略研究センターでは、弘前の都市イメージを花の彩りで高めることを目的とした、まちなかでの実験として「ハナヒロプロジェクト」に取り組んでいます。様々な魅力のある弘前のまちが花で彩られることによって、どれだけ魅力が高まるのだろう、どれだけ気持ちのよいまちになるのだろうと、そんな思いを込めてこのプロジェクトは企画されました。

今年度は5月、7月、9月に、親子、学生、お花が好きな人など、たくさんのボランティアさんの手で、季節のフラワーバスケットを制作し、中央弘前駅から土淵川沿いの歩道や蓬莱広場、中土手町などに飾っています。毎回、みんな笑顔で、楽しく盛り上がりながら作業しています。

このプロジェクトに共感した人によって、自宅や職場、そして地域を花で彩るような動きが広がっていき、これまで以上に住んで心地よく、訪れて気持ちのいいまちに弘前が変わっていくことを期待しています！みなさんも土手町を通った際には、フラワーバスケットをぜひチェックしてくださいね。

弘前市 ひろさき未来戦略研究センター (TEL 40-7021) : 水口真由美



九州北部豪雨への募金活動



弘前大学ボランティアセンターでは九州北部豪雨で被害を受けた方々のために、平日の昼間に大学構内で、日曜日の午前中に弘前駅前で募金活動を行いました。募金活動では現地で活動している方から頂いた写真を貼り付けたパネルを用意し、呼びかけました。九州北部豪雨の被害はメディアだけでは違う世界のことのように、あまり関心を持ってもらえていなかったように感じました。ですが、私たちが募金活動を行ったことで雨という身近にある天候が大きな災害をもたらすということをわかってもらえたのではないかと思います。駅前での募金活動では、一度通りすがっていった人が電車の切符を買ってから「おつりで少ないけど」と言葉を残して募金をしてくれたり、「元弘前大学生の縁だから」と募金をしてくれる人がいました。また、福岡出身の方も募金して下さり、被災状況について知ってもらうきっかけとなれたことも活動した甲斐があったと思えます。

人文社会学部4年：平井典子



豆知識

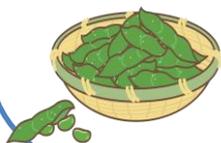
枝豆 ~EDAMAME~



そろそろ枝豆のシーズンも終わりですが・・・枝豆にビールは定番ですね。枝豆は食物繊維などの栄養が豊富なうえ、アルコールの分解を促して肝臓の負担を減らすそうです。また、悪酔いや二日酔いを防ぐ効果もあります。

近年の健康志向にともなう日本食ブームで、2000年ごろから北米、ヨーロッパなどの海外でも食すようになり「EDAMAME」(エダマ~メ)と呼ばれ人気になっています。

※ 旬の物より味は落ちますが、業務用などのしっかりした冷凍設備で製造された市販の冷凍枝豆でも栄養はほとんど変わらないそうです。



編集後記

「ふくろう通心」をご覧になっている皆さん、こんにちは。私は皆さんのお手元に「ふくろう通心」をお届けしている蔦谷と云います。製作スタッフの皆さんの思いを第32号からお届けして早や6年が経ちました。今まで続けてこられたのもスタッフの皆さんの熱い思いがあればこそと思っています。毎号、様々な内容でとても楽しく読ませて頂いている一人でもあります。これからも読者の心を掴む様な話題を提供して下さることを期待しております。特に「豆知識」、おもしろいですね。ご苦勞が感じられます。今後も話題の一杯詰まった「ふくろう通心」をお届けしたいと思います。スタッフの皆さん頑張れ！ 蔦谷昌一

<製作>市民ボランティアスタッフ<製作協力>弘前市ボランティア支援センター
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822
HP: www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/

※ URLが変更になりました。
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。

